

鳥取県留学生交流推進会議

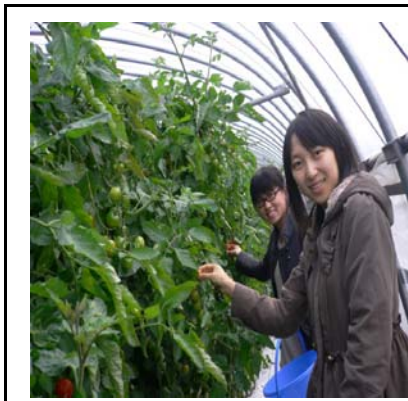
事業名	留学生による農作業ボランティア活動			
実施期間	2012年5月～2013月1月			
場 所				
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	74 名	30 名	14 名	118 名

<実施内容>

- ①5月26(土)智頭町「ケニアにお米を送る」活動に係る田植作業に留学生22名派遣
- ②11月10日(土)琴浦町ミニトマト収穫に留学生10名派遣
- ③12月1日(土)八頭町柿の収穫に留学生22名派遣
- ④12月8日(土)～9日(日)
鳥取県大山町椎茸ホダ木作り・足立美術館見学に留学生20名派遣



智頭町田植え作業



琴浦町ミニトマト収穫作業



八頭町柿収穫作業



大山町ホダ木作り作業

<参加者からのコメント>

岳軻さん(中国)/YUE Ke(CHINA)

その日は、牧場のおじいさんとおばあさんと一緒に椎茸のホダ木作りを体験した。それはきのこの栽培だ。みんなも積極的におじいさんから習い、分からないところは、おじいさんに教えてもらった。短い時間で、椎茸の栽培方法を教えてもらった。おじいさんから、今栽培された椎茸は3年間待たないと椎茸にならないことを教わり、私は本当にびっくりして感動した。

現在の複雑かつ緊迫している国際情勢の下、政府及び民間が行う交流は極めて重要になってきている。また、私にも、一人の留学生として、国際交流に果たすべく責務があると思う。これから、もっと積極的に多くの国際交流活動に参加していきたいし、大学側からも留学生にもっと多くのチャンスを提供していただきよう切望している。

ド ティ ヴィエット フォンさん(ベトナム)/Do Thi Viet Huong(VIENTNAM)

In conclusion, I can say that this program is very useful for foreigner students to discover the Life in Japan including culture, natural geography and especially the Farmer life in Tottori – countryside area. I also high appreciate that the activities of this program is very abundant and change every year so we can know more about the culture of Japan.

I hope that next year, there will be more activities during the time in Daisen – cho, more exchanged activities with the local people, the children and if it is possible the time of events can be changed to the summer or the spring season for diversifying the activities of farmer.

I would like to send my gratitude to Tottori University, IAD staff as well as teacher Sakihara for giving opportunity to participate in this program. I wish all the staff in IAD and teacher have a prosperous new year.